

教科(科目)	技術	総時数	17.5時間	学年(コース)	3学年
使用教科書	東京書籍『新編 新しい技術・家庭 技術分野』				
副教材等	明治図書『技術・家庭総合ノート 技術分野』				

1 学習目標

- ・「情報の技術」によって、ネットワークと計測・制御に関するプログラミングで問題を解決しよう。

2 指導の重点

- ・生活や社会における問題を「情報の技術」によって解決します。
- ・これからの社会の発展と「情報の技術」の在り方を考えます。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・生活と技術について理解をしているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会で利用されている情報の技術について科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み、情報モラルの必要性及び、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。 ・安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中から双方向性のある情報のやりとりに関わる問題を見いだして、必要な機能をもつコンテンツの設計・制作などの課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。 ・情報の技術を評価し、適切な選択と管理・運用、改良、応用する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、情報の技術を工夫し創造しようとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・授業への取組 ・作品、ワーク、ファイル（ワークシート）などの提出物 ・定期テスト などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業への取組 ・作品、ワーク、ファイル（ワークシート）などの提出物 ・定期テスト などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業への取組 ・作品、ワーク、ファイル（ワークシート）などの提出物 ・定期テスト などから、総合的に評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法

4	10	双方向性の	7	プログラミングによる 問題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の発見、課題の設定 ・設計・計画の立案、UML 図にまとめる ・プログラミングによる問題解決 ・制作のふり返りとまとめ 	c a, b	授業の取組 作品
5	11	あるコンテ					
6	12	ンツを開発 する					
7	1	フルカラー	8	プログラミングによる 問題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の発見、課題の設定 ・設計・計画の立案 ・UML 図や製作図にまとめる ・プログラミングによる問題解決 ・実習のふり返りとまとめ 	c a, b a, b	授業の取組 作品 定期テスト
8	2	LED を使っ た計測・制 御する教材 を製作する					
9	3	情報の技術 について調 べる	2	社会の発展と情報の技 術	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会、環境との関わり ・技術の評価、選択と管理・運用、改良、 応用 	c	授業の取組
			0.5				

計 17.5 時間 (50 分授業)

6 課題・提出物等

・作品 ・ワーク ・ファイル (ワークシート)

7 担当者からの一言

3 年生では「情報の技術」について学びます。フルカラーLED を使ってプログラミングができる計測・制御教材 (時計) を製作します。情報で学んだ知識や技能は、後期課程の「情報」の教科につながります。

(担当：金子)